

平成 23 年度瀬戸内海広域総合水質調査
(環境省委託調査)

水質環境科

(春,夏,秋,冬)瀬戸内海沿岸 11 府県で同時調査を実施している。愛媛県では四国中央市から愛南町までの 19 地点で採水し、プランクトンを除く pH 等 12 項目の分析を行っている。

環境省委託調査として、昭和 47 年度から、年 4 回

広域総合水質調査

採水対象地点	19地点
調査回数	4回 / 年
分析項目	水素イオン濃度, 溶存酸素量, 塩分, 化学的酸素要求量, 硝酸性窒素, 亜硝酸性窒素, アンモニア性窒素, 全窒素, リン酸態リン, 全リン クロロフィルa, 珪酸態珪素 計12項目
分析件数	1824件

平成 23 年度地下水汚染原因調査
(県行政調査)

水質環境科

因を究明するため、精密調査を実施している。

平成 23 年度は、新たに 1 地点で硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の超過が確認されたが、超過井戸及び周辺井戸は全て飲用でなかった。

県が実施している地下水の概況調査において環境基準超過が判明した場合、汚染範囲及び汚染原

当該地域の周辺井戸の採水・分析するとともに地域の産業形態や生活排水の調査結果を解析した結果、施肥が原因と推定された。

地下水汚染原因調査

調査井戸数	10井戸
分析項目	水素イオン濃度, 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素, アンモニア態窒素 $Na^+, K^+, Ca^{2+}, Mg^{2+}, Cl^-, NO_3^-, SO_4^{2-}, HCO_3^-, NO_2^-, PO_4^{3-}$ フッ素, 電気伝導率, ふん便性大腸菌数 計 16 項目
分析件数	160件
解析項目	調査地域の概要, ヘキサダイアグラム, キーダイアグラム, 濃度相関マトリクス 窒素の地下浸透量(農地の施肥状況, 畜産の形態及び生活排水) 計5項目